

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	地域フェスタなどを行うことで、地域の方々に認知症の理解や関心を持っていただけるように取り組んではいるが、ご家族の出席率は低く、認知症の進行や現状の理解の低い方もみられる。	ご家族や入居者の親しい方々に認知症の理解を深めていただく。	広報誌(アリスだより)のミニコラムに認知症についての知識や情報を掲載して、興味を持っていただく。家族や地域の方向けの勉強会や介護相談会などをおこなっていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議は他施設参加は管理者のみ自施設参加は、特養アリス甲子園施設長・グループホーム管理者のみとなっており、スタッフにとって身近なものになっていない。	現場スタッフも運営推進会議に参加し、地域の方など参加者の意見を聞き、ケアに活かしていく。	運営推進会議に管理者だけでなく、現場スタッフも参加し2ヶ月の入居者の状況や行事について報告できるようにしていく。	12ヶ月
3	27	申し送りや連絡ノートを用いて情報の共有を行うと共に会議などで情報共有・ケアの統一を図っているが、情報が共有しきれていないことがある。	情報を共有しながらケアの統一を図る。	申し送り事項の漏れのないように注意する。連絡ノートの活用方法を見直す。情報共有会議の定期開催、事例検討により情報共有を図るとともに欠席者に対するの議事録の確認の徹底を図る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。